

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

## ②施設・事業所情報

名称：フェアリーテイルつばさ	種別：認可保育所
代表者氏名：松山 由美子	定員（利用人数）： 70 名
所在地：本園：〒230-0015 横浜市鶴見区寺谷2-1-20サクマ寺谷ビル1階 分園：〒230-0015 横浜市鶴見区寺谷1-3-2朋山ヒルズ1階	
TEL：045-580-2527	
ホームページ：https://fairy-kanagawa.codmon.net/	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2019年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 オレンジプラネット	
職員数	常勤職員： 17名 非常勤職員： 4名
専門職員	（保育士） 15名 （看護師） 1名
	（調理員） 1名 （栄養士） 2名（兼務）
	（事務員） 1名 （保育補助） 2名
施設・設備の概要	（居室数）本園3室 分園3室 遊戯室・調理室・調乳室・事務・医務室：各1室

## ③理念・基本方針

## &lt;保育理念&gt;

子ども一人一人の個性を尊重し、夢、希望、信頼の運営理念のもとに 関わる全ての人  
が幸せになる保育園をつくります。

## &lt;保育方針&gt;

- 1 子ども達の輝く未来へ「あったらいいな」を実現します。
- 2 子ども達の健やかな成長を支援します。
- 3 保護者の子育てと就労を支援します。
- 4 保育の質を高めるために、職員の専門性を高めます。
- 5 お子様一人一人に責任を持ち、成長をしっかりと見つめます。

## ④施設・事業所の特徴的な取組

- ・幼児クラスの習い事に外部講師を入れ、子どもたちの可能性を広げていく。
- ・外部講師の習い事により、職員の保育の軽減をはかる。
- ・乳児クラスはゆとりある職員配置をし、一人一人に手厚くかかわっている。
- ・外国人児童、障害児の受入れも積極的に行い、インクルーシブな保育を目指している。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年6月25日（契約日） ～ 令和3年2月15日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（            年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1) インクルーシブ保育の推進

外国籍の子どもや障がいのある子どもを受け入れ、インクルーシブな保育を目指しています。様々な国の子どもを受入れる際には、職員間で十分に話し合い、各国の文化を理解すると共に、服装や食事、習慣など文化の違いを尊重した対応に配慮しています。障がいのある子どもについては専門機関と連携し保育を行っています。保育所等訪問支援の実施事業所とは、当該児童のアセスメント結果や支援計画を共有すると共に必要なアドバイスを受けています。市の療育センターからは年1回心理担当が来園し、専門的な助言を受けています。園内では園長を講師とし障がいの理解等をテーマとした園内研修を実施しているほか、行政主催の研修にも派遣し、専門性の向上に努めています。

2) ICT等を活用した園運営

園では、ICT(情報通信技術)を活用しています。園内に設置したタブレットによる登降園時間管理をはじめとして、保護者が携帯アプリ等からも保育園からのお知らせ及び保護者からの欠席・遅刻等の連絡を送受信できるようになっています。また、園行事で撮影した写真の購入手続きや保護者アンケートの依頼も行え、いつ何処でも保育園と保護者との連絡が可能となっています。園では、オンラインアプリを介した連絡や情報提供について、保護者の要望を受けて活用の推進を図っています。

業務上の事務処理については、クラウドコンピューティングシステムを活用して、各種規程様式、会議記録、面談記録記録、計画関係、報告書類及び本社からの資料等の記録・閲覧がパソコン上で可能となり、全職員が情報共有できるシステムが作られています。また、一括してデータ保管することによるセキュリティー及び書類のペーパーレス化にも寄与しています。

◇改善を求められる点

1) 運営の透明性の確保

園のホームページを開設していますが、法人、保育所の理念、基本方針、事業計画、財務状況など公表していません。組織内部の周知にとどまらず、地域社会に対してもこれらを明示し、保育所の存在意義や役割を広く認識してもらうための情報発信の工夫が期待されます。

2) 中・長期的なビジョンを明確にした計画の策定

当園は、旧運営会社から事業譲渡により引き継がれて開園した保育園であり、今年で2年目となりますが、園としての中・長期的な事業計画及び中・長期の収支計画は未策定です。今後、経営環境等の把握・分析等を踏まえ法人ともすり合わせの下、園としての中・長期的な事業計画及び収支計画を策定することが望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

事業譲渡されてから間もなく整わないことも多い中の第三者評価でしたが、職員一人一人が保育や保育園の運営について考えたり、保護者の意見を通してあたためて保育を見直す良いきっかけとなりました。

今年度は感染症の影響もあり行事やイベントの縮小で思うように保育が行えない部分もありましたが、アプリやインターネットを活用し、保護者とのやり取りをするなど、新しい取り組みも積極的に行ってきました。

今後はホームページへの方針や理念の掲載などを行い、積極的に情報開示を行いながら、地域に開かれた施設を目指していきたいと思っております。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり